

■ 大分都市圏総合都市交通計画

● 計画の位置づけ

大分都市圏（大分市、別府市、臼杵市、豊後大野市、由布市、日出町の5市1町）において、「大分県長期総合計画」や「大分県の都市計画の方針」、各都市計画区域に定めている「都市計画区域マスタープラン」や「都市計画マスタープラン」などの関連する計画を踏まえながら、都市圏における望ましい交通体系の整備に関する方針を示したものです。

この計画の中では、目指すべき将来像を『将来にわたって安心して利用でき、地域の活力と都市圏の発展を支える交通体系』とし、平成25年度に行われた交通実態調査（第2回大分都市圏パーソントリップ調査）の結果から得られたデータをもとに、大分都市圏における交通体系の基本方針等について整理し、道路網や公共交通網の施策についてとりまとめています。

● 目標年次

令和17（2035）年度（基準年は平成27（2015）年）

● 策定経過

昭和58年 第1回パーソントリップ調査

昭和60年度 総合交通施設設計画策定

平成25年 第2回パーソントリップ調査

平成27年9月 大分都市圏総合都市交通計画策定

令和3年3月 大分都市圏総合都市交通計画一部改訂



▲パーソントリップ調査の内容



▲大分都市圏 対象圏域図



▲交通戦略（例 道路交通体系）

将来像

「将来にわたって安心して利用でき、地域の活力と都市圏の発展を支える交通体系」

[交通課題1]

都市圏の
活力維持・向上のための
広域交通網の強化
◆都市圏の広域交通網の強化による
交流等の支援
◆陸・海・空の交通ネットワークを活かす
循環機能の強化

[基本方針1]

他都市圏との活発な交流・連携を
支援する広域交通体系
◆広域交通網の構築と高速化
◆広域交通拠点の機能強化

[施策展開1]

- 1-1 広域交通網の構築と高速化
 - 中九州新幹線の整備計画格上げを含めた幹線鉄道高速化の促進
 - 太平洋新国土地盤構想の実現に向けた取組みの推進
 - 高速バスの利便性強化
 - 鉄道サービスの維持・向上
- 1-2 広域交通拠点の機能強化
 - 大分駅等主要鉄道駅における交通結節機能の強化
 - 空港・フェリーターミナル等へのアクセスの強化

[施策展開2]

拠点間の連携強化と
様々な交通手段の
利便性向上
◆道路における交通混雑の緩和
◆公共交通及び主要交通拠点の
サービスの向上

[基本方針2]
拠点集約型まちづくりを支援する
持続可能な都市交通体系
◆拠点間の円滑な移動を支える
交通体系
◆目的地やシーンに応じて
様々な手段が選べる交通体系

[施策展開2]

- 2-1 拠点間の円滑な移動を支える交通体系
 - 混雑の緩和に向けた幹線道路の整備
 - 基幹バス系統の導入など路線バス網の再構築
 - 鉄道及び路線バスの利便性・速達性の向上
- 2-2 目的地やシーンに応じて様々な手段が選べる交通体系
 - 鉄道と路線バスの連携強化
 - バード＆ライドの促進
 - 駅やバス停などの快適性向上
 - 自転車ネットワークの整備

[施策展開3]

拠点内の移動を支える
安全・安心な交通の確保
◆公共交通の維持
◆駅やバス停等の交通施設の充実
◆歩行者・自転車利用者の安全性の確保
◆地区拠点内の回遊性の向上及び
安全性の確保

[基本方針3]

安全・安心な移動により
生活を支える交通体系
◆快適な日常生活における循環バスの導入など回遊性の向上
○都市中心市街地など地区拠点における循環バスの導入など回遊性の向上
○路線バスやタクシー、コミュニティバスなど地域公共交通による交通手段の確保
◆交通安全対策など歩行者の安全性向上
○交通施設などのバリアフリー化
○自転車利用環境の改善
○自転車の遵守に向けた啓発・PR活動

[施策展開3]

- 3-1 快適な日常生活を支える交通体系
- 3-2 安全に移動できる交通体系
- 3-3 永く安心して暮らせる交通体系
- 3-4 みんなで考えてつくる交通体系

[施策展開3]

- 歩行空間の確保に向けた適切な維持管理の推進
- 交通ルールの遵守に向けた啓発・PR活動
- 橋梁の耐震化など防災性能の向上
- 走行空間の確保による公共交通の利用促進
- 新たなモビリティサービスの検討

▲計画の全体像（令和3年3月改訂時）